

令和5年度

シラバス

青翔開智高等学校

第1学年

もくじ

現代の国語	3
言語文化	4
地理総合	5
歴史総合	6
数学Ⅰ	7
数学A	8
物理基礎	9
生物基礎	10
体育（男子・女子）	11~12
保健	13~14
音楽Ⅰ	15
美術Ⅰ	16
英語コミュニケーションⅠ	17
論理・表現Ⅰ	18
情報Ⅰ	19
【学校設定】STEAM	20
【学校設定】共成と飛躍	21
探究Ⅳ	22

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	国語	現代の国語	2	必修	習熟度別

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。				
評価の観点	知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	思考・判断・表現 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わりあう態度を養う。		
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など		
教科書・教材	筑摩書房『現国712 現代の国語』・筑摩書房『現代の国語 課題ノート』・桐原書店『セレクト漢字検定 5級～2級』・大修館書店『ビジュアルカラー国語便覧』				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	・ガイダンス	1		
	・「サイエンスの視点、アートの視点」 【話すこと・聞くことア】目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。	5	ペーパーテスト①	
	・「ことばとは何か」 【読むことア】文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。	6	ペーパーテスト②	
	・「ことばがつくる女と男」 【書くことア】目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にする。	6	発表・発表資料	
	・探究スキルラーニング「ビブリオバトル」(図書館利用) 【話すこと・聞くことイ】自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。	7	発表・発表資料	
2学期	・「会話と対話」 【話すこと・聞くことエ】表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりする。	6	成果物	
	・「来るべき民主主義」 【書くことウ】根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文体・語句などの表現の仕方を工夫する。	6	レポート	
	・探究スキルラーニング「ポスト真実時代のジャーナリズム」 【話すこと・聞くことウ】資料や機器を効果的に用いるなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。	5	発表・発表資料	
	・「繁沢の条件」 【書くことイ】論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫する。	5	ペーパーテスト③	
	・「(私)時代のデモクラシー」 【話すこと・聞くことイ】自分の立場や考えを明確にし、話の構成や展開を工夫する。	7	ペーパーテスト④	
3学期	・「記憶する体」 【話すこと・聞くことオ】論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や振興など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫すること	6	ペーパーテスト⑤	
	・「意見を文章にまとめてみよう」(小論文) 【書くことエ】目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりする。	6	発表・発表資料	
	・探究スキルラーニング「新書レポート」 【読むことイ】目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること	8	レポート	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	国語	言語文化	2	必修	習熟度別

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとすると共に、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとめている。		
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト・論述・レポート・探究スキルラーニングで評価する成果物等	探究スキルラーニングで評価する成果物等・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など		
教科書・教材	『言文712 言語文化』・準拠ノート『言語文化 課題ノート』(筑摩書房)・読解を大切に体系古典文法 九訂版、読解を大切に体系古典文法ワーク(数研出版)、みるみる覚える古文単語300+30(いっずな書店)、体系漢文、体系漢文法演習(数研出版)、ビジュアルカラー国語便覧(大修館書店)				

年間学習計画					
学期	学習内容	時数	主な評価方法		
1学期	ガイダンス	1			
	古文への扉【読む】				
	・見のそら寝『宇治拾遺物語』	5	ペーパーテスト①		
	・大江山『十訓抄』 文語文法の品詞(特に用言)について理解し、内容や構成・展開などについて叙述をもとに的確に捉える。	5	ペーパーテスト②		
	古文: 人間の普遍的な姿 物語に表れた心情を読み取る【読む】				
	・芥川『伊勢物語』 物語を通して文章の意味は文脈の中で形成されていることを理解する。	5	ペーパーテスト③		
	探究スキルラーニング『『歌物語』を作ろう』(図書館利用学習) 百人一首の中から好きな和歌を一つ選び、当時の文化に着目して自分なりの歌物語を作成する	4	レポート		
古文: 演習		2			
現代文: 韻文の表現【書く】・短歌 (図書館利用学習) 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう表現を工夫し、短歌を創作する。		1	作品の制作		
2学期	現代文: 想像力がひろく世界【読む】		8	ペーパーテスト④	
	・羅生門 原典と小説を読み比べて表現の違いについて考える 心情を表す言葉を場面・文脈のなかで捉える				
	漢文への扉 漢文を学ぶために【読む】 ことばの構造を考える 漢語の特色 故事成語を読む【読む】		7	ペーパーテスト⑤	
	・守株・借虎威 ことばが創られる過程に触れ、普遍性の高い言語表現を身につける				
	演習		3		
	古文: 自分という世界【読む】		7	ペーパーテスト⑥	
	・土佐日記・更級日記				
演習		3			
3学期	漢文: 韻文の表現 唐詩を翻案する【書く】		5	ペーパーテスト⑦	
	・登鸛鶴楼・涼州詞・香伊峰下 唐詩を通して我が国の文化と外国の文化との比較について理解する 翻案を通じて自分の思いを伝えよう 自分の知識や体験の中から適切な題材を集め、表現したいことを的確にする				
	現代文: 韻文の表現 詩歌を表現する【書く】		8	グループ活動・レポート・成果物	
	探究スキルラーニング「体験・心情と表現」(図書館利用学習) 掲載詩の中から1作品選択し筆者の背景と作品との関係についてまとめる 作品理解をキーワードに落とし込みテキストマイングで表現する				
	古文: 演習		4		

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	地理・歴史	地理総合	2	必修	ホームルーム

科目の目標	社会的現象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地理に関わる諸事象に関して、地図や地理情報システムなどを用い、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につける。	地理に関わる諸事象に関して、多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて構想する力を養い、それらを元に説明したり議論したりする力を身につける。	地理に関わる諸事象に関して、課題を主体的に追究・解決しようとする態度とともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する態度を身につける。
評価の方法	ペーパーテスト・成果物など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	二宮書店『わたしたちの地理総合』、二宮書店『詳解現代地図 最新版』、帝国書院『新詳地理資料COMPLETE 2023』、二宮書店『わたしたちの地理総合ワークブック』		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	1-1 球面上の世界	2	
	1-2 国家の領域と領土問題	2	
	1-3 国内や国家間の結びつき	4	ペーパーテスト①(1章)
	1-4 日常生活のさまざまな地図	2	
	探究スキルラーニング「スプレッドシートを活用して階級区分図をつくらう」	4	成果物など
	2-1 自然環境と生活文化	8	ペーパーテスト②(2-1)
2-2 産業の発展と生活文化	8	ペーパーテスト③(2-2)	
2学期	2-3 言語・宗教と生活文化	8	ペーパーテスト④(2-3)
	2-4 グローバル化の進展と生活文化	4	
	探究スキルラーニング「課題解決のための新たな地域共同体をデザインしよう」	6	成果物など
	3-1 人口・食料問題	4	
	3-2 居住・都市問題	4	
	3-3 資源・エネルギー問題	4	
3学期	3-4 地球環境問題	4	ペーパーテスト⑤(3章)
	4-1 自然環境と防災	4	
	探究スキルラーニング「地域密着型の防災マップをつくらう」	4	成果物など
	4-2 持続可能な地域づくり	6	ペーパーテスト⑥(4章)

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	地理・歴史	歴史総合	2	必修	ホームルーム

科目の目標	<p>①近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>②近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>③近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。	近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・成果物など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	明解歴史総合(帝国書院) 明解歴史総合ノート(帝国書院) 最新世界史図説タペストリー二十訂版(帝国書院)		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	探究スキルラーニング「新聞、資料の比較、関連づけ」	4	成果物・レポート
	1歴史の扉	2	
	2近代化と私たち		
	2-1 江戸時代の日本と結びつく世界	5	
	2-2 欧米諸国における近代化	6	ペーパーテスト①・授業内レポート
	2-3 近代化の進展と国民国家形成	4	
	2-4 アジア諸国の動揺と日本の開国	5	ペーパーテスト②・授業内レポート
2学期	探究スキルラーニング「明治維新は革命か」	5	
	2-5 近代化が進む日本と東アジア	5	
	3国際秩序の変化や大衆化と私たち		
	3-1 第一次世界大戦と日本の対応	3	
	3-2 国際協調と大衆社会の広がり	4	ペーパーテスト③・授業内レポート
	探究スキルラーニング「英雄たちの描かれ方」	4	成果物
	3-3 日本の行方と第二次世界大戦	7	
3学期	3-4 再出発する世界と日本	4	ペーパーテスト④・授業内レポート
	探究スキルラーニング「それぞれの国の世界大戦」	4	成果物
	4グローバル化と私たち		
	4-1 冷戦で揺れる世界と日本	4	
	4-2 多極化する世界	4	ペーパーテスト⑤・授業内レポート
3学期	4-3 グローバル化の中の世界と日本	4	ペーパーテスト⑥・授業内レポート
	探究スキルラーニング「それぞれの国の冷戦」	4	成果物

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	数学	数学 I	3	必修	習熟度別

科目の目標	① 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 ② 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 ③ 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係を着目し、事象を的確に表現してその特徴を表す、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の方法	ペーパーテスト・提出物・探究スキルラーニングなど	ペーパーテスト・提出物・探究スキルラーニングなど	授業態度・提出物・探究スキルラーニングなど		
教科書・教材	数研出版 数学 I、新課程 チャート式 基礎からの数学I+A				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	ガイダンス&春休み課題テスト	1		
	第1章 数と式 第1節 式の計算、第2節 実数、第3節 1次不等式	23		
	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ、第2章 2次方程式と2次不等式	30	ペーパーテスト①	
2学期	第4章 図形と計量 第1節 三角比、第2節 三角形への応用	21	ペーパーテスト②	
	第5章 データの分析 探究スキルラーニング「偏相関係数」	12	ペーパーテスト③	
			ペーパーテスト④	
3学期	演習	30		

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	数学	数学A	2	必修	習熟度別

科目の目標	(1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の方法	ペーパーテスト・提出物・探究スキルラーニングなど	ペーパーテスト・提出物・探究スキルラーニングなど	授業態度・提出物・探究スキルラーニングなど		
教科書・教材	数研出版 数学A、新課程 チャート式 基礎からの数学I+A				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	ガイダンス&春休み課題テスト	1		
	数学I 第2章 集合と命題	9		
	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	13	ペーパーテスト①	
	第1章 場合の数と確率 第2節 確率	13	ペーパーテスト②	
2学期	第2章 図形の性質 第1節 平面図形	12	ペーパーテスト③	
	第2章 図形の性質 第2節 空間図形	7	ペーパーテスト④	
			ペーパーテスト⑤	
3学期	第3章 数学と人間の活動 探究スキルラーニング「石取りゲーム」	23		
			ペーパーテスト⑥	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	理科	物理基礎	2	必修	ホームルーム

科目の目標	<p>物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3)物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>		
評価の観点	知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・観測・実験を行い、基本操作を習得している。 ・それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 	思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象の中に問題を見いだしている。 ・探究する過程を通して、事象を物理的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 	主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究している。 ・科学的態度を身に付けている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	啓林館「高等学校物理基礎」、啓林館「KEIRINKANDXシリーズ物理基礎セット」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	物理における探究スキル養成講座	2	
	第1部 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の運動 第1節 速度 第2節 加速度 第3節 落体の運動	6	ペーパーテスト①
	第2章 力と運動 第1節 力 第2節 運動の法則 第3節 様々な力と運動	8	ペーパーテスト②
	探究スキルラーニング「重力加速度測定実験」	2	生徒による自己評価/相互評価
	第3章 仕事とエネルギー 第1節 仕事 第2節 運動エネルギー 第3節 位置エネルギー 第4節 力学的エネルギーの保存	8	ペーパーテスト③
2学期	第2部 熱 第1章 熱とエネルギー 第1節 熱と温度 第2節 熱量 第3節 熱と仕事の変換	6	ペーパーテスト④
	探究スキルラーニング「自己調整型学習」	2	生徒による自己評価/相互評価
	第3部 波 第1章 波の性質 第1節 波の伝わり方 第2節 波の性質	8	ペーパーテスト⑤
	第2章 音 第1節 音波の性質 第2節 音源の振動	8	ペーパーテスト⑥
	第4部 第1章 静電気と電流 第1節 静電気 第2節 電流	6	ペーパーテスト⑦
3学期	第2章 交流と電磁波 第1節 電磁誘導と発電機 第2節 交流と電磁波	6	ペーパーテスト⑧
	第5部 物理と私たちの生活 第1章 エネルギーとその利用 第1節 様々なエネルギーとその利用	7	ペーパーテスト⑨
	第2章 物理学が拓く世界	7	ペーパーテスト⑩
	探究スキルラーニング「浮力に関する考察」	2	生徒による自己評価/相互評価

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	理科	生物基礎	2	必修	ホームルーム

科目の目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解している。 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生物や生物現象から問題を見いだしている。 見直しをもって観察、実験などを行なっている。 得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生物や生物現象に主体的に関わりを持つようとしている。 見直しをもちったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	啓林館「高等学校 生物基礎」、啓林館「KEIRINKANDXシリーズ 生物基礎セット」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	第1章 生物の特徴 ガイダンス	1	
	第1節 生物の共通性と多様性	7	授業への取り組み レポート① ペーパーテスト①(第1章 第1節)
	第2節 生物とエネルギー	7	授業への取り組み ペーパーテスト②(第1章 第2節)
	探究スキルラーニング「原核生物と真核生物における共通点と相違点」	4	観察・実験の実技 成果物
2学期	第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA	7	授業への取り組み
	第2節 遺伝情報とタンパク質の合成	7	授業への取り組み ペーパーテスト③(第2章 第1節・第2節)
	第3章 神経系と内分泌系による調節 第1節 情報の伝達	7	授業での取り組み
	第2節 体内環境の維持のしくみ	7	レポート② ペーパーテスト④(第3章 第1節・第2節)
	第4章 免疫	5	授業での取り組み
	探究スキルラーニング「DNAの抽出(ブロッコリー)」	4	観察・実験の実技 成果物
3学期	第5章 植生と遷移 第1節 植生と遷移 探究スキルラーニング「『暖かさの指数』から世界のバイオームを推測することへの問題点はあるか」	10	授業への取り組み ペーパーテスト⑤(第5章) 観察・実験の実技 成果物
	第6章 生態系とその保全 第1節 生態系と生物の多様性	6	授業への取り組み
	第2節 生態系のバランスと保全	6	授業への取り組み ペーパーテスト⑥(第6章)

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	体育・保健	体育(男子)	2	必修	男女別

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを旨とする。また、スポーツを通して粘り強くやり遂げる・自己の責任を果たす・一人一人の違いを大切にすることといった態度を養う。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。そして、自らの学習を調整しようとする力と粘り強い取り組みを行おうとする力を身に付ける。		
評価の方法	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実技テスト レポート・発表等	教師による行動観察・自己評価/相互評価等		
教科書・教材	アクティブスポーツ				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	オリエンテーション 体づくり運動 新体力テスト	4	・新体力テスト結果等	
	陸上 ・走運動(短距離走、中・長距離走、リレー)	8	・単元テスト① ・実技テスト	
	球技1 ネット型「バドミントン」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・ストロークの理解、サービス、ラリーの組み立て)	6	・単元テスト② ・実技テスト	
	球技2/体育理論 ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(バスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	8	・単元テスト③ ・実技テスト	
2学期	球技3/体育理論 ゴール型「バスケットボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(バスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	8	・単元テスト④ ・実技テスト	
	球技4 ゴール型「サッカー」 ・基本的技能の習得とゲーム(パス、シュート、トラップ、攻撃と守備の原則の理解)	8	・単元テスト⑤ ・実技テスト	
	球技5/体育理論 ベースボール型「ソフトボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(打撃、捕球、送球などの用具操作、走者と連携した打撃による攻撃とその守備)	10	・単元テスト⑥ ・実技テスト	
3学期	選択 ダンス ・現代的なリズムのダンス 器械運動 ・マット、跳び箱	10	・ダンス発表会 ・実技評価チェックシート	
	球技6 ネット型「卓球」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・スイングと構え、サービス、ラリーの組み立て)	10		
	球技バレー(男女合同)	6	・単元テスト⑦ ・実技テスト	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	体育・保健	体育(女子)	2	必修	男女別

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを旨とする。また、スポーツを通して粘り強くやり遂げる・自己の責任を果たす・一人一人の違いを大切にすることといった態度を養う。				
評価の観点	知識・技能 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	思考・判断・表現 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	主体的に学習に取り組む態度 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。そして、自らの学習を調整しようとする力と粘り強い取り組みを行おうとする力を身に付ける。		
評価の方法	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実技テスト レポート・発表等	教師による行動観察・自己評価/相互評価等		
教科書・教材	アクティブスポーツ				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	オリエンテーション 体づくり運動 新体力テスト	4	・新体力テスト結果等	
	球技1/体育理論 ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	8	・単元テスト① ・実技テスト	
	陸上 ・走運動(短距離走、中・長距離走、リレー)	6	・単元テスト② ・実技テスト	
2学期	球技2 ネット型「バレーボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パス、サーブ、アタック、攻撃と守備の原則の理解)	8	・単元テスト③ ・実技テスト	
	球技3/体育理論 ベースボール型「ソフトボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(打撃、捕球、送球などの用具操作、走者と連携した打撃とその守備)	8	・単元テスト④ ・実技テスト	
	球技4/体育理論 ゴール型「バスケットボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	8	・単元テスト⑤ ・実技テスト	
	球技5 ネット型「バドミントン」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・ストロークの理解、サービス、ラリーの組み立て)	10	・単元テスト⑥ ・実技テスト	
	球技6 ネット型「卓球」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・スイングと構え、サービス、ラリーの組み立て)	10		
3学期	選択 ダンス ・現代的なリズムのダンス 器械運動 ・マット、跳び箱	10	・ダンス発表会 ・実技評価チェックシート	
	球技バレー(男女合同)	6	・単元テスト⑦ ・実技テスト	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	体育・保健	保健(男子)	1	必修	男女別

科目の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。				
評価の観点	知識・技能 現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりとその活用について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解できるようにするとともに、それらの内容に関わる技能を身につける。	思考・判断・表現 健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択するなど判断をしたりするとともに、それらを他者に表現することができる。	主体的に学習に取り組む態度 自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって、生徒が現在および将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものを目指す。		
評価の方法	ペーパーテスト・レポート	ペーパーテスト・レポート・発表等	教師による行動観察・自己評価／相互評価等		
教科書・教材	現代高等保健体育、現代高等保健体育ノート				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	オリエンテーション 健康の考え方と成り立ち、私たちの健康のすがた	2	・ノート	
	生活習慣病の予防と回復	3	・単元テスト① ・レポート	
	がんの原因と予防 がんの治療と回復	4	・ノート	
	運動と健康 食事と健康	4	・単元テスト② ・レポート	
2学期	休養・睡眠と健康 喫煙と健康	3	・ノート	
	飲酒と健康 薬物乱用と健康	4	・ノート ・レポート	
	精神疾患の特徴 精神疾患の予防	4	・単元テスト③ ・ノート ・レポート	
	精神疾患からの回復	4	・ノート	
3学期	現代の感染症	3	・単元テスト④ ・ノート	
	性感染症・エイズとその予防	4	・単元テスト⑤	
	健康に関する意思決定・行動選択	4	・ノート	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	体育・保健	保健(女子)	1	必修	男女別

科目の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりとその活用について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解できるようにするとともに、それらの内容に関わる技能を身につける。	健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択するなど判断をしたりするとともに、それらを他者に表現することができる。	自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって、生徒が現在および将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものを目指す。		
評価の方法	ペーパーテスト・レポート	ペーパーテスト・レポート・発表等	教師による行動観察・自己評価／相互評価等		
教科書・教材	現代高等保健体育、現代高等保健体育ノート				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	オリエンテーション 健康の考え方と成り立ち、私たちの健康のすがた	2	・ノート	
	生活習慣病の予防と回復	3	・単元テスト① ・レポート	
	がんの原因と予防 がんの治療と回復	4	・ノート	
	運動と健康 食事と健康	4	・単元テスト② ・レポート	
2学期	休養・睡眠と健康 喫煙と健康	3	・ノート	
	飲酒と健康 薬物乱用と健康	4	・ノート ・レポート	
	精神疾患の特徴 精神疾患の予防	4	・単元テスト③ ・ノート ・レポート	
	精神疾患からの回復	4	・ノート	
3学期	現代の感染症	3	・単元テスト④ ・ノート	
	性感染症・エイズとその予防	4	・単元テスト⑤	
	健康に関する意思決定・行動選択	4	・ノート	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	芸術	音楽 I	2	選択必修	選択

科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽や音楽文化と豊かに幅広く関わる資質・能力を育成することを旨とする。				
評価の観点	知識・技能 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性を理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。	思考・判断・表現 自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心構えを育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。		
評価の方法	ペーパーテスト・実技(歌唱・アルトリコーダー演奏・リズム制作)など	ペーパーテスト・鑑賞のレポート・グループワークなど	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など		
教科書・教材	MOUSA 1(教育芸術社)、アルトリコーダー				

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	西洋音楽史:古代ギリシャ、中世・ルネサンスの「コーラス」と「オーケストラ」 作曲家(パレストリーナ)	3	音楽史のレポート
	西洋音楽史:バロック時代の「オペラ」や「オラトリオ」 作曲家(バッハ、ヘンデル、ヴィヴァルディ)	3	音楽史のレポート
	バッハ:パイプオルガンの荘厳な響き「幻想曲とフーガト短調」	2	鑑賞のレポート
	ヘンデル:オラトリオ「メサイア」	2	鑑賞のレポート
	ヴィヴァルディ:色彩豊かに描かれたヴァイオリン協奏曲「四季」	2	鑑賞のレポート
	リズムアンサンブル「クラッピング・カルテット第1番」	3	リズム表現の実技
	旋律で言葉を作る「きらきら星」	3	創作の実技
	リズム表現「cups」	4	リズム表現の実技
	西洋音楽史(バロック時代)	1	ペーパーテスト①
	リズムアンサンブル	1	実技テスト①
2学期	西洋音楽史:古典派の「オーケストラ」作曲家(ハイdn、モーツァルト、ベートーヴェン)	3	音楽史のレポート
	西洋音楽史:ロマン派の「オペラ」「歌曲」「ピアノ曲」 作曲家(シューベルト、プッチーニ、ショパン)	3	音楽史のレポート
	モーツァルト:洗練された旋律の魅力「交響曲第40番」	2	鑑賞のレポート
	ベートーヴェン:規模が拡大されたオーケストラ「交響曲第9番」	2	鑑賞のレポート
	シューベルト:詩と音楽が織りなす歌曲「菩提樹」	2	鑑賞のレポート
	プッチーニ:アリアの魅力を感じるオペラ「トゥランドット」	2	鑑賞のレポート
	ショパン:ピアノの性能を最大限に生かした「ポロネーズ 英雄」	2	鑑賞のレポート
	日本語の語感を活かして歌唱「この道」	3	歌唱の実技
	イタリア歌曲に取り組み歌唱「カーロ ミオ ベン」	3	歌唱の実技
	任意の楽曲の演奏	3	演奏の実技
	リコーダー演奏「愛の挨拶」	3	リコーダー演奏の実技
	リコーダーとキーボードのアンサンブルの「威風堂々」	3	アンサンブルの実技
	作詞・作曲の創作活動	3	創作の実技
西洋音楽史(古典派、ロマン派)	1	ペーパーテスト②	
「カーロ ミオ ベン」の歌唱	1	実技テスト②	
3学期	音楽理論の学習「楽典」	3	ワークシート
	西洋音楽史:近現代のさまざまな手法の作品 作曲家(ラヴェル、ドビュッシー、ラフマニノフ)	3	音楽史のレポート
	ラヴェル:バレエ音楽「ボレロ」	2	鑑賞のレポート
	ラフマニノフ:ピアノとオーケストラの響き「ピアノ協奏曲第2番」	2	鑑賞のレポート
	作詞・作曲の創作活動	6	創作の実技
	3学期のまとめ	1	ペーパーテスト③
	リベルタンゴの演奏	1	実技テスト③

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	芸術	美術 I	2	選択必修	選択

科目の目標	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し、構想を練ったり、価値観意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、美術文化に親しみ心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値観意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に作品や美術文化の鑑賞を含む幅広い美術の創造活動に取り組もうとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・提出作品・ワークシート	ペーパーテスト・グループ制作・ギャラリートーク	スケッチブックへの記述・描画 授業中の発言・教師による行動観察
教科書・教材	日本文教出版 高校美術		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	オリエンテーション/静物デッサン	2	提出作品
	静物デッサン	2	提出作品 取り組み観察
	自画像	4	提出作品・取り組み観察
	粘土による立体「にぎり寿司」(パロディ)	4	提出作品・取り組み観察
	抽象表現(技法)(テーマに沿った作品制作)	6	提出作品・取り組み観察
	相互鑑賞		
	鑑賞	4	レポート
	風景画制作	2	提出作品 取り組み観察
2学期	ポスター(構成基礎)(レタリング)(テーマ・構想)(制作)	10	提出作品・取り組み観察
	相互鑑賞		
	イメージ画(構想・下絵)(支持体づくり)(制作)	8	提出作品・取り組み観察
	相互鑑賞		
	廃材を使った立体	6	提出作品・取り組み観察
	絵手紙	4	提出作品・取り組み観察
3学期	鑑賞	2	レポート・取り組み観察
	服飾デザイン(人体模型)(構想)(制作)	10	提出作品・取り組み観察
	ブックカバー等デザイン	6	提出作品・取り組み観察

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	外国語	英語コミュニケーション I	4	必修	習熟度別

科目の目標	英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、英語による「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと(やりとり・発表)」、「書くこと」の言語活動及び統合的な言語活動を通して英語と共感することで、日常的・社会的な話題について英語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。 また、実社会で直面する話題を取り上げ、それらを多角的な視点で読解することで、自他を尊重し、豊かな文化観と国際協調の基礎を養うことを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	英語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めている。 これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に着けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細を話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者を配慮しながらコミュニケーションを図ろうとし、自らの学習を調整し、主体的に学びに向かおうとしている。
評価の方法	単元テスト	探究スキルラーニングにおける成果物	探究スキルラーニングにおける成果物 各活動におけるリフレクション
教科書・教材	CAMBRIDGE EXPERIENCE 1(ケンブリッジ大学出版局) CAMBRIDGE EXPERIENCE 1 workbook(ケンブリッジ大学出版局)		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	オリエンテーション	1	
	UNIT 1 BEHAVIOUR	10	単元テスト①
	探究スキルラーニング「Find your Quote」	4	成果物
	UNIT 2 WAYS OF LEARNING	10	単元テスト②
	UNIT 3 TECHNOLOGY	10	単元テスト③
	探究スキルラーニング「ジブリ静止画で帰納法について学ぶ」	8	成果物
	CLIL D Symbolism in art	2	
	Literature Skills 1	3	
	Literature Skills 2	4	
2学期	UNIT 4 APPEARANCE	10	単元テスト④
	探究スキルラーニング「グラフの読み取り」	5	成果物
	UNIT 5 WORK	10	単元テスト⑤
	UNIT 6 HEALTH	10	単元テスト⑥
	UNIT 7 HAPPINESS	10	単元テスト⑦
	UNIT 9 TRAVEL	10	単元テスト⑧
	探究スキルラーニング「大塚国際美術館ポスター作り&中1に紹介」	3	成果物
3学期	UNIT 8 HOME	10	単元テスト⑨
	Literature Skills 3	4	
	探究スキルラーニング「対話型鑑賞」	8	成果物
	UNIT 10 FREE TIME	10	単元テスト⑩
	CLILL A~CLILL C	10	
	Literature Skills 4	4	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	外国語	論理・表現 I	2	必修	習熟度別

科目の目標	英語の成り立ちや文化の理解を深め共感し、コミュニケーションを図る態度を養うとともに、日常的・社会的な話題について論理の構成や展開を工夫することで、基本的な文や表現を用いて「話すこと(やりとり・発表)」、「書くこと」ができるようになる。				
評価の観点	知識・技能 英語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めている。 これらの知識を話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	思考・判断・表現 情報を整理しながら場面や状況を理解し、適切な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを伝えあっている。	主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者を配慮しながらコミュニケーションを図ろうとし、自らの学習を調整し、主体的に学びに向かおうとしている。		
評価の方法	単元テスト	探究スキルラーニングにおける成果物	探究スキルラーニングにおける成果物 各活動におけるリフレクション		
教科書・教材	FACTBOOK English Logic and Expression I (桐原書店) NEW TREASURE Stage 3、NEW TREASURE Stage 3 文法問題集(以上、Z会)				

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	オリエンテーション	1	単元テスト①
	Lesson 1 時制・完了形	5	
	Lesson 2 助動詞の発展的用法	5	
	探究スキルラーニング「Find your Quote」	2	成果物
	Lesson 6 関係代名詞	5	単元テスト②
	Lesson 7 関係副詞	5	
	探究スキルラーニング「ジブリ静止画で帰納法について学ぶ」	3	成果物
2学期	Lesson 3 不定詞	5	単元テスト③
	Lesson 4 受動態の発展的用法	5	
	探究スキルラーニング「グラフの読み取り」	2	成果物
	Lesson 5 副詞節	5	単元テスト④
	Lesson 9 分詞・分詞構文	5	
	Lesson 8 名詞節	5	単元テスト⑤
	探究スキルラーニング「大塚国際美術館ポスター作り&中1に紹介」	3	成果物
3学期	Lesson 10 比較	5	単元テスト⑥
	探究スキルラーニング「対話型鑑賞」	2	
	Lesson 11 仮定法	5	
	Lesson 12 さまざまな表現 / 強調・否定・例置	7	
	総復習	3	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	情報	情報 I	1	必修	ホームルーム

科目の目標	<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけている。	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得している。情報社会と人との関わりについて理解を深めている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報及び情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・レポート	ペーパーテスト・レポート・グループ活動	授業中の発言や取り組み・生徒による自己評価/相互評価
教科書・教材	数研出版 高等学校情報 I		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	ガイダンス	1	
	情報社会の問題解決 情報メディアの特性	1	
	情報社会のモラル	1	
	問題解決手法	1	
	情報の法・制度	1	
	情報セキュリティ	1	レポート
	単元テスト	1	単元テスト①
	コミュニケーションと情報デザイン 数値の表現	1	
	情報のデジタル化	1	
	情報デザイン的作用	1	
2学期	単元テスト	1	単元テスト③
	情報デザイン実践	1	提出物
	情報サービスによる問題解決	1	提出物
	コンピュータとプログラミング コンピュータの仕組み	1	
	アルゴリズム	1	
	単元テスト	1	単元テスト③
	基本的なプログラミング	2	
	基本的な計算	1	
	応用的プログラミング	3	
	プログラミングによる問題解決	3	提出物(プログラム)
3学期	モデル化とシミュレーション	3	提出物(プログラム)
	提出物(スプレッドシート)		
	情報通信ネットワークとデータの活用 通信ネットワークの意味	1	
3学期	インターネットの仕組み	1	
	セキュリティ手法	1	
	単元テスト	1	単元テスト④
	データ管理の役割と方法	1	提出物(レポート)
	量的データの分析	2	提出物(レポート)
	質的データの分析	2	提出物(レポート)
	データを活用した問題解決	2	提出物(レポート)
	提出物(レポート)		

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	次世代	STEAM	1	必修	学年

科目の目標	<p>予測不可能な時代(VUCA時代)において、直面する課題を創造的に解決するために必要な思考力やテクノロジー活用の素養を身に付けることを目的とし、次の3点を目標に設定する。</p> <p>1:課題解決のための過程をシステム思考を活用して設定できるようになる。</p> <p>2:センサー等を用いてデータを収集し、データに応じてデバイスを動かすことをプログラミングを活用して制御できるようになる。</p> <p>3:複数の方法から適切な表現の手段を選択して、自身の考えを表現できるようになる。</p>				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の方法	プログラミングコード等の成果物 作品等の成果物	思考ツールを使って課題解決の過程を設定することができたか。 多様な表現ツールを使って共感を得る成果物を作成できたか。	成果物作成にあたり創意工夫を行い、積極的に活動に取り組むことができたか。		
評価の方法	プログラミングコード等の成果物 作品等の成果物	各種ワークで作成されたワークシート 各種ワークで作成された作品	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等		
教科書・教材	適宜資料等を配布する				

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	○ガイダンス(授業の目的・目標の共有, 年間授業計画の説明等)	1	
	○デザイン思考:「デザイン思考とは」 ・思考ツール活用ワーク(アイデアマップ,マトリクス)	2	課題解決の過程設定
	○システム思考:「システム思考とは」【外部講師招聘予定】 ・思考ツール活用ワーク(冰山モデルワーク, V字モデルワーク)	3	課題解決の過程設定
	*適切な課題解決の過程を設定できるようになるために, システム思考に関わる思考法を活用できるようになるワーク		
	○情報の収集:「アンケート作成の基本」【外部講師招聘予定】 ・アンケート作成・データ収集・分析ワーク(Googleフォーム, Googleスプレッドシート等)	4	アンケートの制作
	*必要な情報収集のために適切なアンケート項目を設定し, 収集したデータを適切に処理・分析できるようになるワーク		
2学期	○情報の収集:「IoTの今」【外部講師招聘予定】 ・センサーを活用したデータ収集ワーク(micro:bit使用)	4	作品の制作
	*デバイスにセンサーを取り付け, 外界の情報をデータとして収集できるようになるワーク		
	○情報の出力:グラフ作成・デバイス制御 ・収集したデータの活用ワーク(micro:bit使用)	3	グラフの作成
	*収集したデータをもとにグラフ作成をしたり, デバイスに特定の反応(動きの出力)をさせるワーク		
	○コーディング:「システム・サービス連携について」【外部講師招聘予定】 ・プログラミングを活用したシステム・サービス連携(Google Apps Script使用)	5	作品の制作
	*GmailとGoogle spreadsheet, Google documentをGASで連携し, 学校生活を改善するワーク		
3学期	○3Dモデリング:「メタバースについて」【外部講師招聘予定】 ・3Dモデル製作(blenderを用いて, 椅子を作成する。)	5	作品の制作
	*表現したいことを3Dオブジェクトにする方法を学び, 仮想空間内に表現できるようになるワーク		
	○表現:デジタル表現について【外部講師招聘予定】 ・クリエイティブツールを活用したデジタルコンテンツの作成(Adobe Creative Cloud)	6	作品の制作
	*Adobeの多様なツール(主としてイラストレーター, フォトショップ)を使い質の高い表現ができるようになるワーク		
	○展示準備:探究基礎成果物(試作品・発表資料等)のフラッシュアップ	4	試作品・発表資料等の作成
	*次世代・STEAMの授業で獲得した技能等を発揮し, 探究基礎で作成している成果物の質をさらに向上させる		
○個人探究テーマの設定・研究計画	2	課題解決の過程設定	
*次世代・STEAMの授業で獲得した思考ツールを活用し, 適切な課題解決の過程を設定する			

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	次世代	共成と飛躍	1	必修	学年

科目の目標	以下の軸を通じて、自己の捉え方と他者の関わり方を基礎とした社会性に関するスキルや態度、価値観を身につけさせるとともに、本校の「育てたい資質と評価項目」のうち、「コンピテンシー」に該当する箇所を2年生以降に自らの体験に即して言語化できるようにする。 ○自分の感情や思考、自分の行動の影響について正しく認識する能力を養う。(自己への気付き) ○他者の立場に立つとともに、さまざまな他者の背景を理解し、共感する能力を養う。(他者への気付き) ○さまざまな状況で異なる自分の感情や思考や行動を調整する能力を養う。(自己のコントロール) ○異なった個性や集団と、健全で満足できる人間関係をきずいて維持する能力を養う。(対人関係) ○個人の行動や社会的なかわりについて、他者を尊重した建設的な選択ができる能力を養う。(責任ある意思決定)
評価の方法	数値による評価は実施しない。 授業で使ったワークシートや振り返りにおける生徒の記述、授業中のようなことから個々の道徳性の成長を見取る。 評価は年度末に記述で通知する。
教科書・教材	適宜資料等を配布する

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	○ガイダンス(授業の目的・目標の共有、年間授業計画の説明等)	1	毎時振り返りアンケートで自己評価を集計する
	○対話をしよう(「対話とは何か」「隣の人の思いを知ろう」「わらじ物語」)	3	↓
	「対話」についての哲学対話・ロールプレイ/周りの人の思いを知る/自分や他者が何に対して怒るのかを知る		↓
	*対話を通して自己・他者についての気付きを得るための素地を作る		↓
	○レジリエンス	3	↓
	レジリエンスとは/自分の捉え方への気付き/自分のなかのコントロールできるもの・できないもの/高校生とレジリエンス		↓
	*レジリエンスを高める実践を通して、自分とはどのようなものか、自分とどう向き合うべきかなどの気付きを得る		↓
2学期	○グループワーク(「ディスカッション」「青開プロジェクト」)	4	↓
	リーダーシップ・フォロワーシップ(班で課題に取り組み、課題に対処する過程を振り返る)/プロジェクト運営のロールプレイ		↓
	*グループワークを通して、他者とどのように関わるべきか、他者がどのようなことを考えているかについての気付きを得る		↓
			↓
	○振り返り・1学期の理想の自分	2	↓
	○2学期の目標設定	1	↓
	○モラルジレンマと倫理観	2	↓
様々なモラルジレンマ/様々な倫理観		↓	
*社会に対する自分の価値観を形成する		↓	
3学期	○青開プロジェクト	3	↓
	談判/社会問題調べ/社会問題話し合い		↓
	*社会における対話の必要性に気づく		↓
	○理想の学校・理想の企業	4	↓
	もつと理想に近い青翔開習/企業の取り組み/PJ構想/1分間ビッチ		↓
	*「理想の青翔開習」に近づくためのプロジェクトを構想する		↓
	○社会人のケーススタディ	3	↓
東日本大震災事前指導/「3.11を学びに変える」(佐藤敏郎先生講演会)		↓	
*実社会において、困難や葛藤が生じる場面を想定し、社会で生きるということについての考えを深める		↓	
○振り返り・2学期の理想の自分	2	↓	
3学期	○今の自分と伸ばしたいコンピテンシー	3	↓
	自分の強みとなるコンピテンシーは何か・伸ばしたいコンピテンシーは何か/コンピテンシーを伸ばすためにすること		↓
	*「青翔開習の育てたい資質」を元に生活する上での目標を設定し、コンピテンシーを実際に伸ばすための活動をする		↓
	○コンピロゴを作る	4	↓
	「推しコンピテンシー」決め/「推しコンピテンシー」のロゴを作成し共有する		↓
	*自身の強みとなるコンピテンシーを表現し共有することを通じて、自身と仲間についての理解を深める		↓
	○1年間の振り返り・これからの自分・理想の自分	4	↓
*年間の活動を振り返り、今後の自分の目標やそれに向けた計画を立て、実行してみる		↓	
		↓	
		↓	

対象学年	教科名	名称	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	総合的な探究の時間	探究IV	2	必修	学年

科目の目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次の通り育成する。 (1)人口減少によって引き起こされる問題や生活とテクノロジーの関わりについての理解を深め、人口減少問題をテクノロジーで解決する意義や価値を理解する。 (2)人口減少が引き起こす身近な課題を設定し、課題解決のための具体的な先進的な方法を設定し、試作・表現することができるようになる。 (3)チーム内で役割を分担しながら探究活動を進めたり、自ら外部のリソースを活用したりするなど、他者と協働しながらよりよい成果物を作れるようになる。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	人口減少によって引き起こされる問題や生活とテクノロジーの関わりについての理解を深め、人口減少問題をテクノロジーで解決する意義や価値を理解できたか。	人口減少が引き起こす身近な課題を設定し、課題解決のための具体的な先進的な方法を設定し、試作・表現することができるようになったか。	チーム内で役割を分担しながら探究活動を進めたり、自ら外部のリソースを活用したりするなど、他者と協働しながらよりよい成果物を作ることができたか。		
評価の方法	探究活動の成果物(アイデアの試作品や発表会の内容)と成果物作成までの過程(チームでの取り組み状況等)から総合的に評価する。				
教科書・教材	学びの技(玉川大学出版部)				

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	授業ガイダンス・図書館活用ガイダンス	2	
	アイデアキャンブ	6	
	アイデアキャンブ		
	アイデアの発散と収束について	2	
	ものごとを論理的に考えるとは	2	
	人口減少問題について理解する	2	
	人口減少によって生じる問題を考えよう	2	
	地域にある人口減少問題を具体的に設定しよう	2	
	テクノロジーとはなんだろう	2	
	先端テクノロジーについて知る・活用方法を考える	6	
2学期	共感:情報検索・インタビュー調査・アンケート調査	2	
	問題提起:課題の設定と課題解決のアプローチ検討	2	
	アイデア創出:解決アイデアの設定	2	
	中間発表準備	2	
	中間発表1	2	
	プロトタイプ:プロトタイプ的设计(ビジネスモデルキャンバス活用)	4	
	SSH東京AI研修旅行		
	プロトタイプ:プロトタイプの作成	6	
	テスト:試作品のテスト・検証	2	
	中間発表2	2	
3学期	テスト:提案アイデアやプロトタイプの修正	6	
	発表資料作成	4	
	発表準備・練習	4	
	青開学会(探究活動成果発表会)	6	
	青開学会振り返り・1年間の振り返り	2	
	アイデンティティ&ビジョンデザインワークショップ	6	